

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

フリガナ マスター カンジ 氏 名 増田 幹司	職 名 特任教授 人間学部 心理福祉学科	取 得 学 位 経済学修士 (大学名) 早稲田大学 (取得年月) 1987年 3月
----------------------------	-------------------------	--

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
1 旭川大学保健福祉学部における科目の担当においては、学生の主体的学びを推進するために、 ①特別講師を招聘しての授業の実施 ②学外授業の実施	(2015.4) ～ 2019.3	①2018年度は、北海道大学大学院教授で前厚生労働省社会援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長を招聘して授業を実施し、職業としての福祉を学生が主体的に考える契機を提供した。 ②2018年度においては、学生に、旭川社会福祉協議会(理事を2期4年間務めた)が主催した「平成30年度 地域支えあいのまちづくりセミナー」(大阪府・豊中市社会福祉協議会福祉推進室長を講師に招聘)に参加してもらい、現実的にどのような方法論で「地域の中での共生」を推進しているのかについて考える機会を与えた。
2 仙台白百合女子大学における社会福祉士養成課程等指定科目の担当においては、学生の主体的かつ効率的な当該指定科目のカリキュラム内容習得の学びを推進するために、 ・原則授業毎回の当該カリキュラムに適応したテキストに沿った予習的課題の出題	2020.9 ～	・厚生労働省社会援護局等のガバナンス下に授業内容等がある社会福祉士養成課程等の指定科目であることから、当該カリキュラムに適応したテキストを使用するとともに、「教育に含むべき事項(内容)」のボリュームが多い社会保障のような指定科目においては、ほぼ毎回原則としてテキストに沿う予習的課題を課したうえで当該カリキュラムに忠実に沿った授業内容としつつテキストの内容を学生に習得させるよう努めている。

#### (2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] 1.「雇用労働における今日的課題」『社会保障の保守主義(増補改訂版)』	共	2018.3	ブックウェイ	岸 功		pp.309-324
2.外国人観光客にも適用される事故補償制度」『ニュージーランド Today』	共	2019.4	春風社		ニュージーランド学会 35名	pp.142-143

[学術論文等] 1.ニュージーランド事故補償制度(通称 ACC)に関する一研究一適用範囲拡大に向けた議論と動向に関する検討一(査読付)	単	2018.3	『ニュージーランド研究』第 24 巻・ニュージーランド学会			pp.15-37
	単	2018.3	『公共政策学』第 12 号・北海道大学公共政策大学院			pp.111-136

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
学術研究発表						
発表テーマ			発表年月(西暦)	発表場所		

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
ニュージーランド学会	監事(2011.12～)	2007.7
日本高齢者虐待防止学会		2008.4
日本キャリアデザイン学会		2010.3
日本ニュージーランド学会		2017.5
過労死防止学会		2017.5

III 研究費の助成を受けた研究(過去 5 年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

### 3. 特記事項

旭川成年後見支援センター 運営委員会 運営委員長(2015.4～2019.3)
旭川市社会福祉協議会 理事(2015.5～2019.6)
旭川市国民健康保険運営協議会 会長代行(2015.9～2017.9)